

医業経営情報

REPORT

Available Information Report for Corporate Management

2017

04

医業経営

平成 28 年決算データからみる 医科診療所経営実績分析

- ① 平成 28 年 医科診療所経営実績分析
- ② 平成 28 年 収入上位診療所の経営実態
- ③ 平成 28 年 診療科目別経営実績分析
- ④ 平成 28 年 医療法人立診療所経営指標分析

1 | 平成 28 年 医科診療所経営実績分析

1 | 医科診療所経営実績分析の概要

本調査は、平成 28 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している平成 27 年との比較を通じ、前年実績との改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、平成 28 年に決算を終えた無床診療所 373 件（医療法人 237 件、個人開業 136 件）の主要科目について、平均値を算出しています。なお本分析では、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
I 医業収入	133,667	135,044	101.0%
1. 保険診療収入	116,871	117,917	100.9%
2. 保険外診療収入	14,656	14,862	101.4%
3. その他の医業収入	2,140	2,265	105.8%
II 変動費	25,500	25,536	100.1%
材料費	22,038	22,141	100.5%
検査委託費	3,462	3,395	98.1%
III 限界利益	108,167	109,508	101.2%
IV 医業費用	49,818	50,189	100.7%
1. 人件費	18,299	19,340	105.7%
2. その他固定費	31,519	30,849	97.9%
減価償却費	5,032	4,972	98.8%
地代・家賃	7,220	7,186	99.5%
研究研修費	328	389	118.6%
保険料	3,214	3,347	104.1%
接待交際費	1,207	1,358	112.5%
その他経費	14,518	13,597	93.7%
V 医業利益	58,349	59,319	101.7%

2 | 医科診療所 全体動向と利益の状況

(1) 医科診療所 全体動向

平成 28 年における医科診療所の経営実績は、平成 27 年と比較して増収減益となりました。比較データのとおり、対前年比に大きな変化は見られませんでした。

黒字診療所は、全体の 87.6%を占めています。

医業収入は 1.0%、保険診療収入は 0.9%の増加で、変動費は、0.1%の増加となりました。限界利益は 1.2%の増加、また医業費用が 0.7%の増加となったため、医業利益は 1.7%の増加となりました。

◆ 医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

対前年比 1.0%増加し、金額にして 1,377 千円の増収となりました。
保険診療収入、保険外診療収入、その他収入のすべてが増加しています。

● 変動費

変動費は対前年比 0.1%の増加で、大きな変動はありませんでした。

● 医業費用

対前年比 0.7%増加し、役員報酬と専従者給与を除いた人件費は、5.7%増加しています。その他固定費は、対前年比 2.1%の減少となりました。

● 医業利益

平成 28 年の平均医業利益は 59,319 千円で、対前年対比 1.7%、金額にして 970 千円の増加という結果でした。

(2) 医科診療所 利益状況

限界利益、医業利益、経常利益の全てが増加となりました。

限界利益は対前年比 101.2%、医業利益が同 101.7%、経常利益が同 104.0%という結果でした。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
限界利益	108,167	109,508	101.2%
医業利益	58,349	59,319	101.7%
経常利益	59,731	62,131	104.0%

3 | 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入分析

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では対前年比 101.0%で、うち保険診療収入は 0.9%、保険外診療収入 1.4%、その他医業収入 5.8%増加しました。

■ 医業収入

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
医業収入合計	133,667	135,044	101.0%
保険診療収入	116,871	117,917	100.9%
保険外診療収入	14,656	14,862	101.4%
その他医業収入	2,140	2,265	105.8%

■ 医業収入分析

金額で見ると、保険診療収入は 1,046 千円の増加、保険外診療は 206 千円の増加、その他の医業収入は、125 千円の増加となっており、保険診療収入が増加しています。

4 | 医業費用 対前年増減比較分析

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。

変動費は 0.1%の増加となり、人件費は 5.7%の増加、その他固定費は 2.1%の減少となりました。

① 変動費（医薬品・医療材料費・検査委託費）

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
変動費合計	25,500	25,536	100.1%
変動費率	19.1%	18.9%	△0.2%
材料費	22,038	22,141	100.5%
検査委託費	3,462	3,395	98.1%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
人件費合計	18,299	19,340	105.7%
(参考) 役員報酬	40,381	40,358	99.9%
(参考) 専従者給与	5,477	5,945	108.5%

③その他固定費

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
その他固定費合計	31,519	30,849	97.9%
減価償却費	5,032	4,972	98.8%
地代・家賃	7,220	7,186	99.5%
研究研修費	328	389	118.6%
保険料	3,214	3,347	104.1%
接待交際費	1,207	1,358	112.5%
その他経費	14,518	13,597	93.7%

(2) 医業費用分析

●変動費

平成 28 年全法人平均で 25,536 千円となり、前年と比較すると 0.1%増加しています。この数値は材料費及び検査委託費で集計しており、材料費が 0.5%増加、検査委託費は 1.9%の減少となっています。

なお、変動比率は 0.2%減少しています。

●人件費

平成 28 年平均で 19,340 千円、対前年比 5.7%の増加となっています。職種によって採用が困難な状況がみられ、離職防止や、採用を見越した賃金の改定が継続されていると推測できます。別途集計したデータでは、役員報酬は平成 28 年平均で 40,358 千円、専従者給与は 5,945 千円となっています。

●その他固定費

平成 28 年全法人平均で 30,849 千円となりました。

前年と比較すると、金額で 670 千円 (△2.1%) の減少となりました。

2 | 平成 28 年 収入上位診療所の経営実態

1 | 収入上位診療所経営実態調査の概要

第 1 章で分析した無床診療所 373 件（医療法人 237 件、個人開業 136 件）の決算書より、収入上位 20%を抽出し、経営データを集計しました。分析の分母は 75 件で、その内訳は医療法人 63 件、個人開業 12 件です。

■平成 28 年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
I 医業収入	286,241	293,299	102.5%
1. 保険診療収入	253,085	258,809	102.3%
2. 保険外診療収入	30,184	31,125	103.1%
3. その他の医業収入	2,972	3,365	113.2%
II 変動費	70,255	72,050	102.6%
材料費	62,955	65,088	103.4%
検査委託費	7,300	6,962	95.4%
III 限界利益	215,986	221,249	102.4%
IV 医業費用	118,462	121,785	102.8%
1. 人件費	58,719	61,799	105.2%
(参考 役員報酬)	65,457	65,567	100.2%
2. その他固定費	59,743	59,986	100.4%
減価償却費	9,269	9,193	99.2%
地代・家賃	11,270	11,477	101.8%
研究研修費	497	616	123.9%
保険料	6,957	6,955	100.0%
接待交際費	1,997	2,603	130.3%
その他経費	29,753	29,142	97.9%
V 医業利益	97,524	99,464	102.0%

2 収益性の状況

(1) 経営動向と利益状況

平成 28 年診療所全体の経営実績は増収減益でした。収入上位診療所も同様に、増収減益となり、医業利益は 2.0%の増加となりました。黒字診療所の割合は 90.3%で、全体での 87.6%という数値と比べ、収入上位の方が黒字割合は高いという結果となりました。

医業収入は全診療所データでは 1.9%の増収でしたが、収入上位診療所では 2.5%増加しています。また収入上位の診療所では、全ての収入科目が増加しています。

変動費は前年比 2.6%の増加、限界利益は同 2.4%の増加となりました。

医業費用は、人件費が 5.2%の増加しており、その他固定費は 0.4%の増加でした。

■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
限界利益	215,986	221,249	102.4%
医業利益	97,524	99,464	102.0%
経常利益	99,939	102,076	102.1%

結果として、医業利益は 2.0%の増加、経常利益も同様に 2.1%の増加となりました。

- 医業収入は対前年比 2.5%増加し、金額にして 7,058 千円の増収となりました。
内訳をみると、保険診療収入が前年比 2.3%増加、保険外診療収入は 3.1%の増加、その他の医業収入は 13.2%の増加を示しています。
医業収入に関しては、全ての科目で増加となりました。
- 変動費は、対前年比 2.6%の増加となっています。材料費が 3.4%の増加、検査委託費は 4.6%減少しています。
- 医業費用は対前年比 2.8%、金額では 3,323 千円の増加となりました。
その内訳では、人件費が 5.2%の増加、その他固定費は 0.4%、金額にして 243 千円の増加を示しています。
- 医業利益は、対前年比 2.0%の増加、金額にして 1,940 千円の増加で、経常利益も 2.1%、金額にして 2,137 千円の増加となっています。

3 | 医業収入の状況

(1) 医 業 収 入 対 前 年 比 較

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
医業収入合計	286, 241	293, 299	102. 5%
保険診療収入	253, 085	258, 809	102. 3%
保険外診療収入	30, 184	31, 125	103. 1%
その他医業収入	2, 973	3, 365	113. 2%

(2) 医業収入分析 (医業収入上位 20%)

- 医業収入は 293, 299 千円で、前年に比べ 7, 058 千円 (対前年比 2. 5%) の増収となりました。
- 医業収入の内訳は、保険診療収入が 258, 809 千円 (対前年比 102. 3%) となり、保険外診療収入は 31, 125 千円 (同 103. 1%) と増加、その他医業収入も 3, 365 千円 (同 113. 2%) と増加しています。

4 | 医業費用の実態

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。変動費は 2. 6% の増加となりましたが、人件費は 5. 2% 増、その他固定費は 0. 4% の増かで前年並みとなっています。

① 変動費 (材料費・検査委託費)

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
変動費合計	70, 255	72, 050	102. 6%
変動費率	24. 5%	24. 6%	0. 1%
材料費	62, 955	65, 088	103. 4%
検査委託費	7, 300	6, 962	95. 4%

②人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
人件費合計	58,719	61,799	105.2%
参考 役員報酬	65,457	65,567	100.2%
参考 専従者給与	6,694	6,711	100.3%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
その他固定費合計	59,743	59,986	100.4%
減価償却費	9,269	9,193	99.2%
地代・家賃	11,270	11,477	101.8%
研究研修費	497	616	123.9%
保険料	6,957	6,955	100.0%
接待交際費	1,997	2,603	130.3%
その他経費	29,753	29,142	97.9%

(2) 医業費用分析

●変動費

平成 28 年収入上位平均では、72,050 千円（対前年比 2.6%増）となりました。
材料費は 2,133 千円増、（対前年比 3.4%増）で、検査委託費は 338 千円減（対前年比 4.6%）減少となりました。

●人件費

平成 28 年収入上位平均で、61,799 千円（役員報酬を除く、対前年比 5.2%増加）となりました。

役員報酬の平均は、平成 28 年 65,567 円（前年比 0.2%増）となっています。
また、専従者給与の平均額は 6,711 千円、0.3%の増加となっています。

●その他固定費

固定費の合計は 59,986 千円で 243 千円の増加（対前年比 0.4%増）となりました。

3 | 平成 28 年 診療科目別経営実績分析

1 | 診療科目別経営実績分析の概要

本分析で抽出したデータは、平成 28 年に決算を終えた無床診療所 373 件（医療法人 237 件、個人開業 136 件）から診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しています。

なお、抽出した診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科で、第 1 章のデータ同様、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

また、参考として平成 28 年各診療科目上位 20% データを記載しています。

■各データのサンプル数

●内科	1 6 8 件	（医療法人	1 1 2 件、	個人開業	5 6 件）
●小児科	4 6 件	（医療法人	3 1 件、	個人開業	1 5 件）
●心療内科	2 1 件	（医療法人	1 6 件、	個人開業	5 件）
●整形外科	3 7 件	（医療法人	2 9 件、	個人開業	8 件）
●皮膚科	3 1 件	（医療法人	1 7 件、	個人開業	1 4 件）
●耳鼻咽喉科	2 9 件	（医療法人	1 7 件、	個人開業	1 2 件）
●眼科	2 2 件	（医療法人	1 5 件、	個人開業	7 件）

個別データは、次ページ以降で紹介しています。診療科目別に集計した主要科目別数値は下記のとおりです。

■平成 28 年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科
医業収入	124,068	153,037	117,804	152,674	127,228	88,281	136,063
変動費	18,245	27,871	11,743	23,355	15,034	5,712	24,639
限界利益	105,823	125,166	106,061	129,319	112,194	82,569	111,424
医業費用	48,543	63,445	43,955	76,297	59,276	39,952	52,468
人件費	17,022	16,799	14,423	37,958	22,347	17,956	17,127
医業利益	57,280	61,721	62,106	53,022	52,918	42,617	58,956
参考：役員報酬	40,333	33,381	34,958	40,009	41,283	29,294	40,705

2 | 診療科目別経営実績分析結果

(1) 内科診療所

内科等を標榜している診療所の集計データの内訳は、一般内科 113 件、循環器内科 23 件、消化器内科 25 件、呼吸器内科 4 件、その他 3 件の計 168 件です。

内科診療所は、増収増益を示し、医業収入は 0.3%の増加で、変動費は 0.7%の減少、医業費用も 1.7%減少、結果として医業利益は 2.5%増加して 57,281 千円となりました。

なお、役員報酬は、28 年平均で 40,333 千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	123,653	124,068	100.3%	257,595
1. 保険診療収入	113,373	113,318	100.0%	240,932
2. 保険外診療収入	8,423	8,882	105.4%	12,507
3. その他の医業収入	1,857	1,868	100.6%	4,155
II 変動費	18,370	18,245	99.3%	42,089
材料費	14,025	13,851	98.8%	32,902
検査委託費	4,345	4,394	101.1%	9,186
III 限界利益	105,283	105,823	100.5%	215,506
IV 医業費用	49,396	48,543	98.3%	131,714
1. 人件費	16,624	17,022	102.4%	62,652
2. その他固定費	32,772	31,521	96.2%	69,062
減価償却費	4,539	4,378	96.5%	7,455
地代・家賃	6,588	6,574	99.8%	10,303
研究研修費	357	417	116.8%	341
保険料	3,097	3,326	107.4%	7,646
接待交際費	1,079	1,044	96.8%	1,620
その他経費	17,112	15,782	92.2%	41,697
V 医業利益	55,887	57,280	102.5%	83,792

(2) 小児科診療所

小児科診療所は、増収増益となり、保険診療収入は 0.9%増加しました。

変動費は 0.7%減少、医業費用も 0.4%減少、結果として医業利益は 3.0%増加し 61,721 千円となっています。

役員報酬は、28 年平均で 33,381 千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	151,694	153,037	100.9%	348,725
1. 保険診療収入	107,651	108,343	100.6%	256,485
2. 保険外診療収入	39,322	39,528	100.5%	87,142
3. その他の医業収入	4,721	5,166	109.4%	5,098
II 変動費	28,062	27,871	99.3%	46,973
材料費	25,302	24,975	98.7%	39,406
検査委託費	2,760	2,896	104.9%	7,567
III 限界利益	123,632	125,166	101.2%	301,752
IV 医業費用	63,723	63,445	99.6%	167,672
1. 人件費	16,420	16,799	102.3%	26,852
2. その他固定費	47,303	46,646	98.6%	140,820
減価償却費	3,151	2,889	91.7%	4,491
地代・家賃	5,998	5,848	97.5%	7,542
研究研修費	339	485	143.1%	1,478
保険料	2,177	2,419	111.1%	3,097
接待交際費	934	970	103.9%	1,284
その他経費	34,704	34,035	98.1%	122,929
V 医業利益	59,909	61,721	103.0%	134,080

(3) 心療内科診療所

心療内科診療所は、増収増益となりました。

医業収入（対前年比 0.4%増加）、医業利益（対前年比 1.2%）ともに増加し、変動費は 0.2%の減少、医業費用も 0.5%の減少となっています。

役員報酬は、28 年平均で 34,958 千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	117,304	117,804	100.4%	218,001
1. 保険診療収入	107,389	107,828	100.4%	214,057
2. 保険外診療収入	7,361	7,404	100.6%	3,010
3. その他の医業収入	2,554	2,572	100.7%	934
II 変動費	11,768	11,743	99.8%	35,298
材料費	10,147	10,303	101.5%	34,956
検査委託費	1,621	1,440	88.8%	342
III 限界利益	105,536	106,061	100.5%	182,703
IV 医業費用	44,154	43,955	99.5%	124,854
1. 人件費	14,102	14,423	102.3%	58,251
2. その他固定費	30,052	29,532	98.3%	66,603
減価償却費	3,972	3,942	99.2%	6,879
地代・家賃	7,487	7,683	102.6%	16,785
研究研修費	353	393	111.3%	913
保険料	3,995	4,217	105.6%	9,548
接待交際費	1,046	1,285	122.8%	2,729
その他経費	13,199	12,012	91.0%	29,750
V 医業利益	61,382	62,106	101.2%	57,849

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所は増収増益となり、医業収入は 0.5%の増加を示しました。

変動費は 0.9%の減少、医業費用は 0.2%減少、結果として医業利益は 2.2%、金額にして 1,129 千円の増加となりました。

役員報酬は、28 年平均で 40,009 千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	151,907	152,674	100.5%	278,566
1. 保険診療収入	130,233	130,913	100.5%	229,182
2. 保険外診療収入	20,240	20,277	100.2%	46,145
3. その他の医業収入	1,434	1,483	103.4%	3,239
II 変動費	23,563	23,355	99.1%	56,048
材料費	19,367	19,243	99.4%	42,367
検査委託費	4,196	4,111	98.0%	13,682
III 限界利益	128,344	129,319	100.8%	222,518
IV 医業費用	76,451	76,297	99.8%	145,418
1. 人件費	37,498	37,958	101.2%	82,951
2. その他固定費	38,953	38,339	98.4%	62,467
減価償却費	5,555	6,085	109.5%	8,811
地代・家賃	9,615	9,776	101.7%	18,091
研究研修費	303	373	123.1%	486
保険料	4,097	4,069	99.3%	6,351
接待交際費	1,588	1,607	101.2%	2,439
その他経費	17,795	16,429	92.3%	26,290
V 医業利益	51,893	53,022	102.2%	77,100

(5) 皮膚科診療所

皮膚科診療所は増収増益となり、医業収入（対前年比 3.2%増加）、医業利益（対前年比 4.4%増加）ともに増加しています。変動費は 3.9%の増加、医業費用は 1.9%の増加となりました。

役員報酬は、28 年平均で 41,283 千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	123,331	127,228	103.2%	233,909
1. 保険診療収入	105,520	109,254	103.5%	205,133
2. 保険外診療収入	16,716	16,832	100.7%	27,775
3. その他の医業収入	1,095	1,142	104.3%	1,001
II 変動費	14,475	15,034	103.9%	34,261
材料費	13,526	14,020	103.7%	32,944
検査委託費	949	1,014	106.8%	1,317
III 限界利益	108,856	112,194	103.1%	199,648
IV 医業費用	58,162	59,276	101.9%	129,140
1. 人件費	22,038	22,347	101.4%	53,776
2. その他固定費	36,124	36,929	102.2%	75,363
減価償却費	4,135	3,726	90.1%	5,021
地代・家賃	6,811	6,922	101.6%	9,212
研究研修費	321	306	95.3%	246
保険料	3,674	3,898	106.1%	6,388
接待交際費	1,408	1,695	120.4%	2,547
その他経費	19,775	20,382	103.1%	51,950
V 医業利益	50,694	52,918	104.4%	70,508

(6) 耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科診療所は増収増益となり、医業収入は、0.2%の増加を示しています。

変動費は3.5%の増加、医業費用は0.7%の減少、結果として、医業利益は0.7%、金額にして312千円の増加となりました。

役員報酬は、28年平均で29,294千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	88,066	88,281	100.2%	148,469
1. 保険診療収入	86,428	86,450	100.0%	145,867
2. 保険外診療収入	1,072	1,080	100.7%	1,642
3. その他の医業収入	566	751	132.7%	959
II 変動費	5,517	5,712	103.5%	9,206
材料費	3,950	4,154	105.2%	6,145
検査委託費	1,567	1,558	99.4%	3,061
III 限界利益	82,549	82,569	100.0%	139,263
IV 医業費用	40,244	39,952	99.3%	55,446
1. 人件費	17,602	17,956	102.0%	29,353
2. その他固定費	22,642	21,996	97.1%	26,093
減価償却費	4,337	4,335	100.0%	5,497
地代・家賃	6,478	6,428	99.2%	7,793
研究研修費	152	179	117.8%	258
保険料	2,132	2,256	105.8%	2,448
接待交際費	1,036	1,146	110.6%	885
その他経費	8,507	7,652	89.9%	9,212
V 医業利益	42,305	42,617	100.7%	83,817

(7) 眼科診療所

眼科診療所は増収増益で、医業収入は対前年比 4.1%の増加となりました。

変動費は 0.8%、医業費用は 1.9%増加しましたが、結果として医業利益は 7.6%、金額にして 4,176 千円の増加を示しています。

役員報酬は、28 年平均で 40,705 千円となっています。

■平成 28 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年		
		全体	対前年比	上位 20%
I 医業収入	130,723	136,063	104.1%	254,590
1. 保険診療収入	126,411	131,558	104.0%	241,408
2. 保険外診療収入	2,922	2,985	102.2%	8,640
3. その他の医業収入	1,390	1,520	109.4%	4,542
II 変動費	24,437	24,639	100.8%	64,765
材料費	23,785	23,990	100.9%	63,674
検査委託費	652	649	99.5%	1,091
III 限界利益	106,286	111,424	104.8%	189,825
IV 医業費用	51,506	52,468	101.9%	106,419
1. 人件費	16,873	17,127	101.5%	45,150
2. その他固定費	34,633	35,341	102.0%	61,269
減価償却費	10,303	10,423	101.2%	15,914
地代・家賃	8,048	8,150	101.3%	13,497
研究研修費	453	413	91.2%	627
保険料	1,718	2,059	119.8%	2,930
接待交際費	1,027	976	95.0%	1,320
その他経費	13,084	13,320	101.8%	26,981
V 医業利益	54,780	58,956	107.6%	83,406

4 | 平成 28 年 医療法人立診療所経営指標分析

1 | 医療法人経営指標分析の概要

本章では、医療法人立無床診療所の 237 件を対象として、貸借対照表の数値を抽出し、経営指標を算出しました。

分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で行っています。

■平成 28 年比較貸借対照表 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	平成 27 年	平成 28 年		平成 27 年	平成 28 年
【流動資産】	64,205	67,475	【流動負債】	17,595	18,390
現金・預金	38,946	40,989	買掛金	4,112	3,872
医業未収金	19,439	19,483	その他	13,483	14,518
その他	5,820	7,003			
【固定資産】	63,790	70,465	【固定負債】	26,458	25,213
《有形固定資産》	30,704	32,327	長期借入金	22,469	21,231
医療用機器備品	4,498	4,443	その他	3,989	3,982
工具器具備品	3,129	3,717	負債合計	44,053	43,603
その他	23,077	24,167	資本の部		
《無形固定資産》	6,906	8,154		平成 27 年	平成 28 年
ソフトウェア	264	548	【出資金】	10,247	10,247
その他	6,642	7,606	【利益剰余金等】	73,695	84,090
《その他の資産》	26,180	29,984			
保険積立金	21,485	25,462	資本合計	83,942	94,337
その他	4,695	4,522	負債・資本合計	127,995	137,940
資産合計	127,995	137,940			

■平成 28 年比較損益計算書 医療法人立無床診療所平均

経営分析に必要となる主要損益数値は、下記のとおりです。なお、役員及び職員数については平均値を算出し、役員 3 名、職員数 8 名、計 11 名で計算しています。

(単位：千円)

	平成 27 年	平成 28 年	前年対比
医業収入計	151,330	152,059	100.5%
限界利益	124,958	125,767	100.6%
給与費計	79,492	80,452	101.2%
医業利益	8,465	8,586	101.4%
経常利益	10,154	10,368	102.1%

2 | 収益性分析 前年対比

		平成 27 年	平成 28 年	増 減
収益性	総資本経常利益率	7.9%	7.5%	△0.4%
	医業収入医業利益率	5.6%	5.6%	0.0%
	医業収入経常利益率	6.7%	6.8%	0.1%
	総資本回転率	1.2 回	1.1 回	△0.1 回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

●総資本経常利益率

平成 28 年度の実績は 7.5% で、前年より 0.4% 減少していますが、医療法人立診療所の経営効率は安定しています。

●医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

医業収入医業利益率・医業収入経常利益率ともに、前年並みの実績となっています。

●総資本回転率

総資本回転率は 0.1 回の減であり、回転率に大きな変化はありませんでした。

3 | 生産性分析 前年対比

		平成 27 年	平成 28 年	増 減
生産性	限界利益率	82.6%	82.7%	0.1%
	1人当たり医業収入/月	1,146千円	1,152千円	6千円
	1人当たり限界利益/月	947千円	953千円	6千円
	1人当たり人件費/月	602千円	609千円	7千円
	労働分配率	63.6%	64.0%	0.4%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	$\text{限界利益} \div \text{医業収入} \times 100$
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	$(\text{医業収入} \div \text{職員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	$(\text{限界利益} \div \text{職員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	$(\text{総額人件費} \div \text{職員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	$\text{総額人件費} \div \text{限界利益} \times 100$

■生産性分析コメント

●限界利益率

限界利益の増加により、前年よりも数値が 0.1%の増加となっています。

●一人当たり医業収入・一人当たり限界利益・一人当たり人件費

いずれも前年度より、微増となりました。収入、限界利益ともに微増したことが要因です。

●労働分配率

労働分配率は、前年 63.6%に対し、28 年は 64.0%となり、0.4%増加しています。

4 | 安全性分析 前年対比

		平成 27 年	平成 28 年	増減
安全性	流動比率	364.9%	366.9%	2.0%
	当座比率	331.8%	328.8%	△3.0%
	固定比率	76.0%	74.7%	△1.3%
	固定長期適合率	59.9%	61.0%	1.1%
	自己資本比率	65.6%	68.4%	2.8%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	流動資産 ÷ 流動負債 × 100
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	当座資産 ÷ 流動負債 × 100
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ 自己資本 × 100
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る	自己資本 ÷ 総資産 × 100

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は、前年から 2.0%の増加しており、引き続き高い短期的な債務返済能力を有していると評価できます。当座比率は、3.0%減少しましたが、換金可能な資産による債務返済能力は高い水準を維持しています。

●固定比率

自己資本の増加により、1.3%の減少となっています。

●固定長期適合率

1.1%増加し、58.9%と望ましい水準を維持しています。

●自己資本比率

68.4%と高い水準を維持しており、財務体質は健全な状況であるといえます。

5 | 成長性分析 前年対比

		平成 27 年	平成 28 年
成長性	医業収入増加率	0.4%	0.5%
	限界利益増加率	1.1%	0.6%
	医業利益増加率	0.8%	1.4%
	経常利益増加率	0.9%	2.1%
	自己資本増加率	11.3%	12.4%

■成長性分析コメント

●成長性は、ほぼすべての数値が増加となりました。平成 28 年 4 月の診療報酬改定では、医科改定率が 0.56%のプラスだったこともあり、増収増益が各数値の伸びに働いたと推測できます。